



大中だより



めざす生徒像：将来に夢を持ち、自立して学習できる生徒



石垣市立大浜中学校
発行：仲地 秀将（校長）
編集：内原 英祐（教頭）
☎ 82-3949 fax 88-5905

第64回八重山中学校新人総合体育大会

第64回 八重山中学校新人総合体育大会 が、12月6日（土）・7日（日）に行われました。

両日、各会場で熱戦を繰り広げ、多くの生徒たちが日頃の練習の成果を発揮しました。

【競技の結果】

<バレーボール競技>

男子 優勝 技能賞：舟道 翔風

女子 準優勝 敢闘賞：石垣 結衣

<バスケットボール競技>

男子 準優勝 敢闘賞：出地 珀斗

女子 準優勝 敢闘賞：生盛 百花

<ハンドボール競技>

男子 準優勝 敢闘賞：田村 和豊

<ソフトテニス競技>

男子個人 優勝：齋藤 蓮・須貝 侑世

<卓球競技>

女子個人 優勝：上原 あんじゅ

第3位：平安山 夏空

<剣道競技>

男子個人 優勝：添盛 浩太郎

<サッカー競技>

敢闘賞：井原 大

得点王：何盛 琉海士(FCishigaki)

ベスト GK 賞：佐々木 創志(FCisigaki)

1 月行事予定

1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	始業式
7	水	
8	木	学級役員認証式、リーダー研
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	
15	木	月の授業、3年：三者面談
16	金	生徒会朝会、3年：三者面談
17	土	
18	日	2年修学旅行準備
19	月	2年：修学旅行
20	火	2年：修学旅行 県立特色一般web出願（～30日）
21	水	2年：修学旅行
22	木	2年：修学旅行、3年：調査書点検
23	金	2年：振替休日、3年：調査書点検
24	土	県P大会（八重山大会）
25	日	県P大会（八重山大会）
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

令和8年度生徒会役員決定

12月3日（水）に令和8年度大浜中学校生徒会選挙を実施しました。その結果、以下の通り生徒会役員が決定しました。12月24日に引き継ぎ、3学期からは新生徒会が活動を始めます。

会 長：大濱 永正

副 会 長：吉田 光里 津野地 笑理

執行委員：仲山 結夏 山田 麻莉子

小島 愛紗 安田 龍之介

譜久盛 奏音

全国中学生人権作文コンテスト 沖縄県大会 W受賞の快挙！

この度、全国中学生人権作文コンテスト沖縄県大会において、本校生徒が輝かしい成績を収めました。これは、日頃の真摯な学びと、人権に対する深い洞察の結晶であり、学校としても大変誇りに思います。

最優秀賞（FC 琉球賞）

受賞者：3年3組 金武 ゆず さん

受賞作品：「無意識の差別」

優秀賞

受賞者：3年2組 友寄 美蘭 さん

受賞作品：「いつか私もおばあちゃんのように」

金武さんの作品は、審査員から特に高い評価を受け、最優秀賞（FC 琉球賞）に選ばれました。

授賞式では、金武さんによる受賞作品の朗読会も催されました。金武さんが壇上で朗読された作品「無意識の差別」は、そのテーマの深さと表現力で、参加者全員の胸を打ちました。

特に、作文の中で取り上げられていた『マイクロアグレッション（Microaggression）』という言葉は、私たちの日常に潜む「無意識の差別」を鋭く指摘するものであり、聴く者全てに深い思索を促しました。

【マイクロアグレッションとは】

特定の人種やマイノリティに対して、悪意はなくても、日常的に繰り返されるささいな言動や振る舞いによって、侮辱や軽蔑、排除といったネガティブなメッセージを伝えてしまうことを指します。

金武さんの作文と朗読は、「自分自身も無意識のうちに誰かを傷つけていないか」という、人権を考える上で最も重要な問いを投げかけてくれました。

友寄さんの作品も、人権に対する真摯な視点と、それを表現する確かな文章力が認められ、優秀賞を受賞しました。日々の努力が実を結んだ素晴らしい成果です。



郷土芸能部 2年連続 全国大会出場が決定

第31回沖縄県中学校総合文化祭が、令和7年12月6日（土）にアイム・ユニバース てだこホールにて開催されました。

八重山地区からは、大浜中学校、白保中学校が郷土芸能部門に出演し、見事な演舞を披露しました。

その結果、令和8年8月20日、21日に東京都で開催される第26回全国中学校総合文化祭に県代表として派遣されることが決定いたしました。

大浜中学校の全国中文祭出演は、2年連続になります。

【郷土芸能部 部長 小笹林檎】

今回、県大会を通して舞台に立ち、たくさんの人に観てもらえるすばらしさを感じることができました。本番直前まで全員そろっての練習ができず、踊りにずれが生まれたり、踊りと唄が合わなかったりと不安なことがありました。しかし、本番では一人ひとりが集中して今までで一番いい演舞にすることができました。日頃から支えてくれた保護者や先生方、外部コーチの黒石先生・大島先生のおかげです。

三年生は最後の舞台、三年間の集大成をだすことができました。

一二年生は、県大会で学んだことを生かして全国大会で最高の舞台を作ってほしいです。

第26回 全国中学校総合文化祭 東京大会

開催日時：2026年8月20日（木）・21日（金）

会場：大田区区民ホールアブリコ、大田区民プラザ

主催：全国中学校文化連盟、東京都中学校文化連盟

